

経済倶楽部便り

◆東京◆ このところ、新人会される方の現役時代のご職業を伺うと、金融機関でご活躍された方が目立ちます。それも民間、系統系、政府系を問いません。多くは先輩や同期である現会員に勧められて、が動機ですが、共通するのはそれだけではありません。現役時代のたゆまぬ自己研鑽が「習い性」になられているようで、それは読書傾向や規則正しい生活にも表れて……。ずばらな身にとつては脱帽の限りです。

4月の講演会は、後藤謙次氏(政治ジャーナリスト)、藤本隆宏氏(東京大学大学院教授)、叶芳和氏(日本経済大学教授)、伊藤元重氏(東京大学大学院教授)をお招きします。

新会員を紹介します。蛭崎淳文氏、藤井誠氏。

(塚田 紀史)

◆中部◆ 先ごろ愛知県沖でメタンハイドレードの試掘が成功したとのニュースの直後に、産業タイムズ社長の泉谷渉氏によるシエールガス／オイル革命の講演を行いました。同氏は昨年、東洋経済から長谷川慶太郎氏と共著でシエールガス開発の本を出し、売れ行きも上々。泉谷氏は「アメリカは逆転満塁ホームランを打ったようなもの」と結論。一方、返す刀で天然ガスに国家収入の多くを依存するロシアや埋蔵量は多いが開発コスト負担に耐えられない中国は、今後ますますエネルギー競争で追い詰められるとも指摘。日本については掘削時のシームレスパイプが日本の鉄鋼メーカーのものであることをはじめ多くの面で日本企業の機材が使われているとのことで、最後のほうは、さながら株式講演会のような雰囲気でした。

4月の定例講演会は、中前忠・中前国際経済研究所代表、與那覇潤・愛知県立大学准教授、評論家・金美齡氏を予定しています。

(日暮良一)